

第 11 回熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター講演会・2012 年度熊本大学研究拠点 B 成果報告 合同講演会

2012 年 11 月 10 日(土) 10:00-16:30 に、「沿岸域環境科学の最前線 -基礎研究から保全・防災・再生まで 合同講演会-」を熊本大学工学部百周年記念館で開催した。今回は、沿岸域センターとセンター専任教員全員が参加している拠点形成研究 B グループとが主催し、文部科学省特別経費(プロジェクト分)-大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実-「生物多様性のある八代海沿岸海域環境の俯瞰型再生研究プロジェクト」および独立行政法人港湾空港技術研究所との共催で実施した。講演では、沿岸域センター教員を含む拠点形成 B メンバーの全員が沿岸域環境に関する研究成果を市民の方々に紹介した。また、ロビーでは研究プロジェクトや学生の研究成果のポスター展示や八代地域の歴史写真の展示も行われた。参加者は 75 名で有明海・八代海から東京湾や震災後の東北地方など日本各地の海域環境の問題について幅広い話題が提供され、学内外の研究者や一般市民のあいだで熱心な議論が交わされた。

講演：

開会の挨拶 滝川 清 (沿岸域環境科学教育研究センター長・
拠点形成 B 研究リーダー)

「有明海・八代海再生研究の現状」

滝川 清 (水・地圏環境科学分野 教授)

「八代海湾奥部における小型底生生物群集の動態」

嶋永元裕 (生物資源循環系解析学分野 准教授)

「八代海湾奥部の環境は、悪化しているのか？」

逸見泰久 (生物資源循環系解析学分野 教授)

「藻場海草アマモに付着する細菌類の解析」

瀧尾 進 (生物資源保全・開発学分野 教授)

「巨大津波による海域環境の変化-東日本大震災の影響評価-」

秋元和實 (水・地圏環境科学分野 准教授)

「東北地方の沿岸生物における化学物質の蓄積特性」

中田 晴彦(大学院自然科学研究科・理学専攻 准教授)

「ブルーカーボンと沿岸生態系の保全・再生」

桑江朝比呂 (沿岸域社会計画学分野 客員教授)

「東京湾における泥質物の堆積と輸送」

中川康之 (沿岸域社会計画学分野 客員准教授)

「沿岸域の魅力ある地域資源について」

森本剣太郎 (熊本大学・特定事業研究員)

「八代地域の世相史的研究」

岩崎竹彦 (熊本大学・五高記念館 准教授)

「干潟底泥微生物による硫黄循環機能の解析」

森村 茂 (大学院自然科学研究科・複合新領域専攻 准教授)

「順応的管理による海岸環境再生」

増田龍哉 (大学院先導機構 特任助教)

ポスター：

「有明・八代海沿岸の歴史写真展示 (撮影：麦島 勝)」 岩崎竹彦 (熊大・五高記念館)

「生物多様性のある八代海沿岸海域環境の俯瞰型再生研究プロジェクト」

八代海研究プロジェクト研究チーム

「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな社会環境創生のための先端科学研究・

教育の拠点形成研究」閉鎖性沿岸海域環境拠点形成研究チーム

「震災復興・日本再生事業 (熊本大学・国立大学協会共催) の紹介」

秋元和實 (熊大・沿岸域センター)

「Analysis of microbial community in marine sediment of Yatsushiro-sea for the recovery of environmental conditions (八代海の環境改善に向けた底質部の微生物群集解析)」

渡邊千夏¹、森村 茂¹、中野光暁¹、太田広人¹、木田建次¹、増田龍哉²、嶋永元裕³、
逸見泰久³、滝川 清³ (¹ 熊大院・自然科学、² 熊大院・先導機構、³ 熊大・沿岸域セ)

「Analysis of microbial community and environmental characteristics in tidal flat (微生物叢解析による干潟底泥中の微生物機能と底質環境特性)」中野光暁¹、湯 岳琴¹、森村 茂¹、
太田広人¹、木田建次¹、増田龍哉²、滝川 清³ (¹ 熊大院・自然科学、² 熊大院・先導機構、³ 熊大・沿岸域セ)

「天草のカニ達」 泉大智、小島太一 (熊大院・自然科学)

「殻をもたない貝の仲間」 追立泰久 (熊大院・自然科学)

「深海のオアシスの住人」 瀬戸口友佳 (熊大院・自然科学)

「アラムシロガイとマキガイイシギンチャクの紹介」 福田ゆか (熊大院・自然科学)

「塩性湿地のいきものたち」 湊本大地 (熊大院・自然科学)

「熊本の宝：ハマグリ」 橋口真大 (熊大院・自然科学)

「海岸を埋めつくすアオサ」 村田泰一 (熊大院・自然科学)

「生きた化石 ナメクジウオ」 山口純平 (熊大院・自然科学)